



●本誌APCの平林さん、尺メバルをゲット



●メバルが入れ食いになり、暮も



●朝イチに釣った25センチ級



▲良型メバルの引きはなかなかのもの。軟調のメバル竿がキュンキュン絞り込まれる

今回の釣り仲間

●取材でお邪魔させていただいたのは、神奈川県横浜市の川島利次さんが幹事を務めるグループ。釣り物はカタクチイワシをエサにメバルを狙う釣り、通称イワシメバルです。



●仲間や家族と沖釣りホリデー!

Charter boat fishing with friends and family

貸し切り船 ナビ

任立専門
●撮影・文 / 古河好夫

【第9回】

三浦半島久留和港

かじや丸

三浦半島久留和港の「かじや丸」は、メバルやシロギス、アジ五目など相模湾の人気ターゲットを、漁師でもある優しい船長がたっぷりと楽しませてくれる船宿。平日は3名、土日祝日も5名からと少人数で仕立てられるのもうれしい。

新倉昭治船長に聞きました! イワシメバルのコツ

「まずエサ付けですが、イワシの下アゴからハリを刺して鼻先の硬い部分に抜くようにしてください。仕掛けを投入して底に着いたら1メートルほど底を切ってアタリを待つんですが、高低差のある根周りを探るのでまめにタナを取り直すことも大事です。根にオモリが着いたままだと根掛かりしてしまいます。アタリがきたら早合わせは禁物。メバルがエサを完全に食い込むのを待って、竿先が大きく引き込まれたら竿を大きく立てるような感じで合わせてください。それと掛かったメバルが大きい場合は、ゆっくりと巻き上げて取り込みはタモですくうようにしてください。無理に抜き上げるとハリスが切れてしまいます」



●平林さんのお孫さんの中山海衣くんもメバルを爆釣



▲船のイクスにはイワシエサがたっぷり

春・初夏の一番人気はイワシメバル
かじや丸の舵を握る新倉昭治船長は、漁師歴40年以上の大ベテラン。現在も釣り船のお客さんがないときは、タコ漁やワカメ漁などに精を出す。かじや丸という船名はその昔、先祖が鍛冶屋と漁で家族を養っていたことに由来しているそう、代々受け継がれてきたという。同宿が仕立船を始めたのは35年以上前のこと。久留和と秋谷沖を中心に釣り物によっては城ヶ島沖や江ノ島沖へも出向く。

この時期のおすすめを船長に伺うと、イチ推しはなんと、イワシエサのメバル釣り、通称イワシメバルとのこと。釣り場は久留和沖の水深6〜20メートル。2〜5月いっぱい楽しめるそう、今年にはメバルの湧きがよく、数型ともに絶好調。25センチ級主体に30センチオーバーも上がっている。カサゴやアカハタなども顔を見せ、今後も期待度は◎だ。

ヒラメもおすすめで、秋谷〜葉山沖の水深20〜50メートルを探る。サイズは0.5〜2キロ級が主体でマゴチもよく交じるといふ。なおイワシメバルとヒラメはリレー釣りが可能だ。

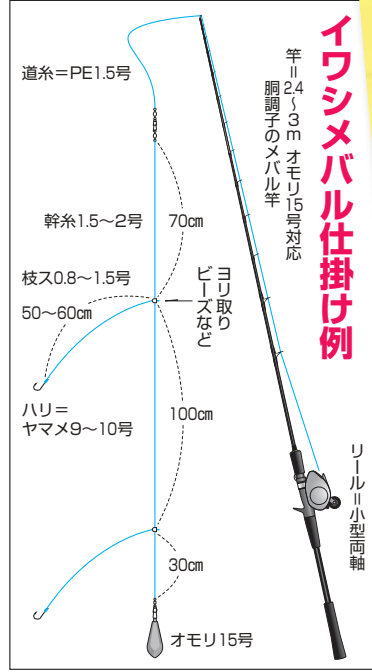
これからの時期はシロギスも狙い目。港からすぐの水深10〜20メートル前後で、16〜25センチ級の数が楽しめる。またシロギスでぜひとも楽しみたいのがハモノ。釣ったシロギスやメゴチをエサにマゴチやヒラメを狙うのだが、マゴチは50センチ級主体に日によっては60センチ級が上がることも。

イワシメバル大好きです! by 中山海衣(かい)くん

当日のメンバーに、大ベテランの本誌APC平林さんもお入り、当日はお孫さんである中学2年生の中山海衣くんと乗船。海衣くんにおじいちゃんと釣りのことを聞いてみた。「釣りは大好きでいつもおじいちゃんに連れてきてもらってます。イワシメバルは2回目なんですけど大好きです。アタリがきて竿先がギューンと入るまでのドキドキ感が最高です。生きエサを使う釣りはホント楽しいと思います。おじいちゃんに本当に釣りがうまくて、釣り方などを僕に分かちやすく教えてくれます。大物を釣り上げることもよくあって尊敬しています」と海衣くん。おじいさんは海衣くんの将来が楽しみです。ちなみに当日の平林さんはお孫さんと並んで竿を出してとっても楽しそうでした。



イワシメバル仕掛け例



4月からはカサゴも面白いそう、釣りは久留和沖の水深10〜30メートル。例年4〜5月は25〜30センチ級の良型がよく上がり数も期待できる。そのほかにはアジ五目も人気で、釣り場は秋谷〜長井沖の水深40〜70メートル。水温の上昇とともに釣果が安定し25〜30センチ級主体に楽しめる。サバやマダイなども交じりクレーラーの中は賑やかになるという。新倉昭治船長は優しく穏やかな人柄で実に親切。平日は3名、土日祝日も5名からと少人数で仕立てられるのもうれしいところ。釣り物も色いろと相談に乗ってくれるので、釣行日と人数が決まったら、まずは電話してみよう。

TARGET イワシメバル

三浦半島久留和港

かじや丸

KAJIYAMARU
Kuruwa Port, Miura Peninsula
☎046-856-8246 (詳細は巻末の情報欄参照)

料金プラン

●平日は3名まで2万7000円～、1人増し9000円～。土日祝日は5名まで4万5000円～、1人増し9000円～(釣り物によって料金の変動あり。イワシメバルとマダイ五目は1人1万円)。下船後に船宿にて精算。



▲「最大15名ですが、12～13名までが釣りやすいです」と船長



▲車は港手前の右側の駐車場に停める



▲乗船場に荷物を下ろしてから車を停めてもいい



▼下船後に船宿(釣り談義)へ

利用ガイド

- 【予約方法】**
電話に人数、希望の釣り物などを伝えて日程を確保
- 【出船時間】**
6時から出船可能。沖揚がりまで最大8時間
- 【エサ、氷、仕掛けなど】**
エサ、氷付き。仕掛けは別料金
- 【レンタルタックル】**
無料
- 【集合場所】**
久留和港に集合。車は港の駐車スペースに停める
- 【備考】**
下船後、船宿にてお茶のサービスがある



▲乗船場から船宿まで徒歩2分

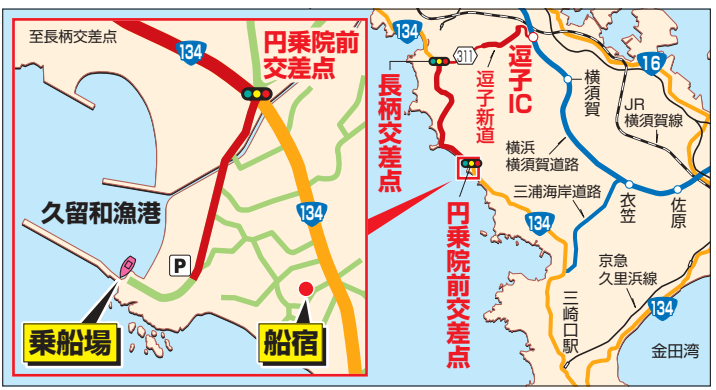
▲新倉昭治船長



▲手巻きリールのレンタルタックルは貸し出し無料



▲目下のイチ押しイワシメバルは25センチ級主体に尺超えも交じる



		《釣り物カレンダー》											
釣り物	シーズン(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
メバル		🐟	🐟	🐟	🐟								
アジ五目		🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
マダイ五目		🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
シロギス					🐟	🐟	🐟	🐟	🐟				
カサゴ		🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
カワハギ		🐟	🐟					🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
イナダ五目								🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
アマダイ		🐟	🐟									🐟	🐟



▲船釣のメバルはタモで取り込もう



▲ダブルでキャッチ



▲アカハタも数尾交じった

▼エサは5～7センチほどのカタクチイワシ。ハリは下アゴから刺し鼻先の硬い部分に抜く



▲エサのイワシはイクスから4～5匹程度バケツに移して使う



▲当日の釣り場は久留和沖の水深18メートル前後



▲じっくりエサを食い込ませてから合わせる



▲久留和沖のイワシメバルは今後も期待大

幹事の川島利次さんに聞きました!
おかみさんの対応が素晴らしく、優しい船長が毎回よく釣らせてくれます!

かじや丸のココが好き!

「かじや丸は30年ほど前から利用していますが、まずおかみさんの対応が明るく優しくいいですね。船長も優しいですし、漁師でもあるので周辺の釣り場を熟知していて毎回よく釣らせてくれます。カワハギやイワシメバルで乗船することが多いのですが、いずれの魚もほかと比べると型がよく、だれがやってもハマると思います。今日は良型メバルの爆釣でメンバー全員大満足です」
当日は6名で乗船し、1人あたりの料金は1万円。ご協力ありがとうございました。



この日のトップはなんと本命だけで20尾の釣果が見事な釣れっぷりに大満足、最良の一日となった。今後も久留和沖のイワシメバルは期待度◎。ぜひ皆さんもお出かけください。

深めのポイントで良型のメバルが爆釣!
かじや丸を訪れたのは2月23日のこと。神奈川県横浜市の川島利次さんが幹事を務めるグループがイワシメバルで仕立てた船にお邪魔させていただいた。当日は7時に出船。しかし前日のシケが影響して海にはウネリが残り、メバル狙いには厳しそうなお状況。船は港から10分も走らない久留和沖でスローになり、水深18メートル前後で開始となった。

底荒れによる苦戦を強いられるかと思ったが、早々に胴の間の方が竿を曲げ25センチ級の本命をキャッチ。底荒れの心配は取り越し苦労だったようで、その後もアタリは続き次々にメバルが取り込まれる。お孫さんと乗船していた本誌APC平林潔さんも和竿で良型のメバルを釣り上げた。

船長は少しでもアタリが遠くとすぐに船を小移動させる。流しを変えようとすぐにアタリが出て中盤戦に入るとスゴイことになった。
25～30センチ級のメバルがほぼ入れ食い状態で、尺メバルと25センチ級が一荷で上がってくることもあり船上は大盛り上がり。小型はほとんど交じらず、食ってくるのは良型ばかり。皆さんは大喜びでメバルのキュキュンと突っ込む引きを堪能している。